

平成23年度 第3回

地域包括支援分科会

資料 2

議事（2）

医療と介護の連携について

介護に関する人材育成の現状 研修(医療との連携)一覧

主催		研修名		テーマ/内容	対象者
北九州市保健福祉局	介護保険課	介護サービス従事者研修 平成22年度	認知症研修1	認知症高齢者の基礎的理解	介護サービス事業者
			認知症研修2	認知症の行動傷害及びその対応	
			認知症研修3	認知症を再考する ～今、介護サービスに求められるもの～	
			介護職のための医学講座1	高齢者の常用する薬について	
			介護職のための医学講座2	感染症の予防について ～感染症予防対策の基本的な知識について学ぶ～	
			介護職のための医学講座3	終末期医療・ターミナルケアについて	
			介護職のための医学講座4	「北九州市介護サービス事故報告のまとめ」 「介護従事者のための医学的ポイント」	
			介護職のための医学講座5	「嚥下のメカニズム」 「高齢者の食事援助における誤嚥予防の視点」	
			介護職のための心理学講座	心の病を抱える方への、介護職としての関わり方を探る ～うつや統合失調症を中心に～	
			北九州市保健福祉局	障害福祉課	
第28回	公開事例検討「関節リウマチの方の在宅生活支援」 ミニ講座「関節リウマチの疾患特性」				
第29回	基調講演「北九州市における地域リハビリテーションの歩みと今後に向けて」 情報提供「脳卒中地域連携パスについて」 切れ目のないリハビリテーション(地域連携)事例報告				
北九州市保健福祉局	いのちをつなぐネットワーク推進課 (地域包括支援センター)	平成22年度ケアマネジメント研修	門司区	「医療機関との連携」 「医療報酬と介護報酬の理解と相互の連携について」	介護支援専門員等
			小倉北区	「回復期医療における医師との連携」～在宅復帰を目指す利用者のためのチームを作ろう～ 「高齢者が悪徳商法に狙われている」～事例を通して認知症ケアを考える～	
			小倉南区	「回復期医療における医師との連携」～在宅復帰を目指す利用者のためのチームを作ろう～ 「高齢者に見られる精神疾患」～その対応法～	
			若松区	「高齢者とアルコール問題」～依存症とその対応～	
				「医師とケアマネジャーとソーシャルワーカーのかけ橋」 「退院後のリハビリテーションについて」～あなたはどうしてますか？～	
			八幡東区	・「高齢者とアルコール問題」～依存症とその対応～ ・「認知症疾患医療センターについて」	
				「医療と介護の連携について」	
			八幡西区	・「感染症(新型インフルエンザ)について」・「八幡西区の防災対応」 ・「折尾土地区画整理事業」	
				「医療と介護の連携について」 「家族の関わり方に問題があるため、再び廃用状態になっている事例」	
			戸畑区	「在宅支援における多職種連携について」～訪問薬局の活動の実際～	

主催	研修名	テーマ／内容	対象者
NPO法人 ケアマネット 21	平成22年度 シリーズで学ぶ ケアマネジメント研修	<p><医療ニーズの高い在宅高齢者の支援を学ぶ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の生理的機能低下の特徴 2. 高齢者に多い疾患について 3. 特定疾患について 4. 訪問看護とのよりより連携について 5. 在宅での医学管理の実際について～胃ろう・ストーマ・H OT・その他の医学管理の実際を学ぶ～ 	医療・介護福祉系 従事者
	平成23年度 ケアマネット研修会 「医療に強くなろう」	<p>「要介護認定の仕組みと訪問調査のあり方を学ぼう」 「かかりつけ医と連携を図ろう」「主治医意見書の活用」～認 知症を中心にかかりつけ医との連携を学ぶ</p> <p>高齢者の生理機能について 高齢者に多い疾患について講 義</p> <p>「最新の診断と治療、後遺症を知る」 「脳血管疾患のアセスメントのポイント」 「リハビリテーションと退院支援(脳卒中パスの活用)」 「訪問歯科診療の現状とこれから」 「訪問薬剤管理指導の現状とこれから」 「今、ケアマネジメントに求められる医療知識」</p>	医療・介護福祉系 従事者

これからの医療と介護の連携

～人材育成等に関すること～

高齢者が安心して、在宅で暮らしていくために目指すべき医療と介護の連携はどのような姿であつたらいいか。



かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師や総合病院・精神科病院のソーシャルワーカー、ケアマネジャー、訪問看護、薬局等が、地域で互いに顔の見える連携を構築していく。

※ 顔の見える連携とは、それぞれの役割を理解しているだけでなく、具体的にどこの誰に、何について相談できるのかも理解している連携のあり方である。



■人材育成の具体的な対応

1 北九州市保健福祉局（第3次高齢者支援計画に反映）

【介護保険課】

○介護サービス従事者への研修（介護やマネジメントに必要な医療に関する知識の習得）

介護サービス従事者がケアマネジメントや医療の専門性を高めるため、関係機関との連携により研修内容の充実を図る。

【いのちをつなぐネットワーク推進課】【地域医療課】

○地域包括支援センター マネジメント研修（区内の連携やネットワークをめざす）

区における介護と様々な医療関係者（医師・歯科医師・薬剤師・医療ソーシャル）が互いの役割を理解し、顔の見える連携ができるような、話し合いの場の設定や研修会等の開催を行う。

【障害福祉センター】

○地域リハビリテーションケース会議（リハビリ分野の専門的な能力向上と連携）

市にある優れたリハビリテーション資材を活かし、医療機関相互の連携を強化するとともに、人材育成を図る。

【健康推進課】

○要介護高齢者等の口腔保健医療推進事業の検討（口腔分野の医療・介護の連携強化）

要介護高齢者等の口腔健康状態の維持・向上と口腔ケア・食支援にかかる多職種連携を維持するため、ケアマネジャーや介護職等を対象とした研修会や事例検討会の開催を検討する。

【高齢者支援課】

○認知症対策連携強化事業（認知症に関する医療と介護の連携）

認知症疾患医療センターを中心として、保健・医療・介護機関等と連携して、認知症疾患に関する鑑別診断、急性期医療、専門医療相談や、関係者への研修等を実施する。

2 関係機関の人材育成に関する対応・意向等

【医師会】

○ 在宅医療推進事業を実施している（在宅医療に関する情報提供・啓発）

市民や民生委員、ケアマネを対象として、かかりつけ医による在宅医療体制や病診連携、診療連携の現状およびこれからの展望などについて、医師会館や市民センターにおいて、講演会を実施する（各区1回/年）。

【歯科医師会】

○ 在宅ケアに関する人材育成は、講師派遣を行っている。今後は、口腔ケア・食支援にかかる多職種の連携と、そのための人材育成が重要と考えている。

【薬剤師会】

○ 在宅ケアに関する人材育成は、講師派遣を行っている。今後の対応については、検討中である。

【NPO法人 ケアマネット21】

○ケアマネット21 研修会

研修には、必ず医療をマネジメントに活用するための演習を入れている。今後も医療に関するテーマを考えている。（医療処置を必要とする内容など）

◎ まず、人材育成の担当部署の顔の見える連携が必要

⇒ 研修等の企画にあたり、今年度の研修を振り返り、次年度の計画内容・取り組みについて、情報交換し、それぞれの役割を確認できる場が必要